

平成28年度 志教育全体計画

宮城県白石高等学校

校 訓		
志操凜風	進取創造	自彊不息

本校の教育目標
21世紀の社会を担う人材育成
心身ともに健全で、地域社会及び国家に貢献するとともに、グローバルな視点に立って地球社会をリードできる有為な人材を育成する。

生徒の実態、教師の願い
温厚で素直であり、向学心が旺盛で、物事に誠実に取り組むことが出来る生徒が多い。 文武両道を体現し、学校内外の諸活動に意欲的に取り組み、広い視野に立ってリーダーになれる人材となしてほしい。

保護者や地域の願い
地域社会・国内はもちろん、国際社会において活躍できる、高い知性や見識を持つ、知・徳・体のバランスが取れた人材となしてほしい。

「志教育」の目標
1 高い志と豊かな情操を備え、しなやかに周りを包み込む器量を持った人となることを目指す。 2 新しい時代を切り拓き、広く世に貢献できる有為な人となることを目指す。 3 たゆまぬ自己研鑽を日々の姿勢として心がける人となることを目指す。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
様々な活動を通して、集団の一員として人とかかわりあうことの大切さを実感させ、適切なコミュニケーションを図りながら、他人と協力して諸問題を解決できる人間性を養う。	課題研究やサマーカレッジなどの体験学習を通して、自分の適性について考えさせ、面談などを通して自分の進路希望の実現に必要な取り組みが何であるか理解させ、高校生活を有意義に過ごさせるようにする。	学校行事やクラス活動などに主体的に参加し、自らの役割を積極的に果たしていくことにより、集団の中における自分の有用性を認識させ、集団の一員としての自覚を持たせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	学問を修めることの意義を理解し、生涯にわたって主体的に学習に取り組む姿勢を養う。また、全教科・科目で高度な知識・技能の習得を目指すとともに、学習内容を有機的に活用させようとする態度を養う。
道徳	本校の教育活動全般を通して、自律・能動・進取の精神と生活態度を涵養する。また、校内・校外の諸活動に積極的に関わることを通して、公共心・公德心を養い、地域・国際社会に貢献する態度を養う。
学習の総合的な時間	進路講話や課題研究を通して、将来の職業について考え、さらに大学見学やサマーカレッジ・学問研究等を通して、学問を修めることの意義を考えさせる。また、ティベートや小論文学習を通して、自らの考えをまとめ表現する能力を養う。
特別活動	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
その他	地域と連携したボランティア活動(サンキューロード)に携わることを通して、環境美化に努める姿勢を養う。また、部活動と学習活動を両立させることを通して、バランスの取れた人格形成を目指す。

各学年の取組内容	
1年	① 新入生オリエンテーション ② SOL活動(野外巡検) ③ 大学見学 ④ 進路講話 ⑤ 二者面談・三者面談 ⑥ 科目選択指導 ⑦ 学問研究 ⑧ ティベート
2年	① 仙南サマーカレッジ ② 二者面談・三者面談 ③ 科目登録指導 ④ 学問探究・課題研究発表 ⑤ 小論文指導 ⑥ 進路別ガイダンス(生徒・保護者) ⑦ 合格者体験講話 ⑧ 職場訪問
3年	① 進路講話 ② 二者面談・三者面談 ③ 課外講習 ④ 進路説明会(保護者向け) ⑤ 面接指導・小論文指導 ⑥ 就職ガイダンス・推薦AOガイダンス

家庭との連携
PTA活動や学校評価・学校公開等への参加の機会を通して、学校の教育活動に対する情報共有を促進し、生徒の進路意識高揚に向けた諸活動について家庭と学校との連携を深める。

地域・企業との協働
地域・企業の有識者を招いた職業人講話や地元企業への職場訪問、地域と連携したボランティア活動を通して、望ましい職業観・勤労観を育成する。